

2023年度 東京成徳短期大学卒業後アンケートの集計結果の概要

I 調査の概要

- (1) 目的 本学のアセスメント・ポリシーに基づき、本学の教育の質の向上をめざすPDCAの一環として、今後の在学生の教育や支援などに役立てるため、卒業後の進学や就職の状況、在学中に受けた教育内容やサービスなどの振り返り、本学で学んだことが現在の仕事等に活かされているかなどを把握する卒業後アンケート調査を実施する。
- (2) 対象者 卒業後3年目（2020年度卒業）の卒業生全員
- (3) 方法 卒業生・保護者住所（当時）へのWebアンケート回答用アドレスの郵送による
- (4) 期間 2023年7月10日（月）～2023年8月15日（火）
- (5) 回収状況

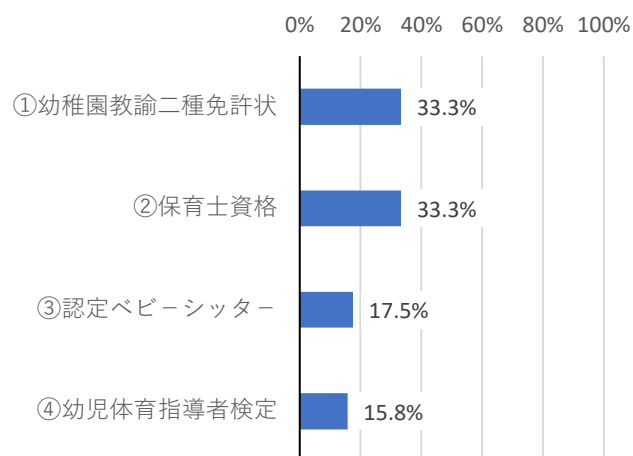
回答数	対象者数	回答率	宛先不明による返送	宛先不明調整後の回答率
20	186	10.8%	14	11.6%

(注)回答者の男女別、女性：19、男性：1

II あなた自身について

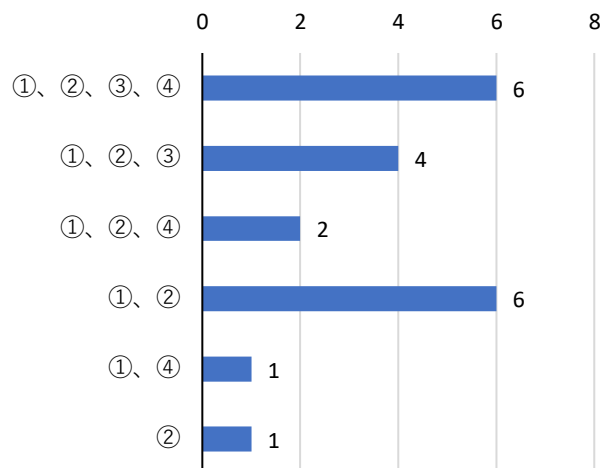
1. 在学時に取得した資格・免許について

（取得資格の延件数、N＝57）



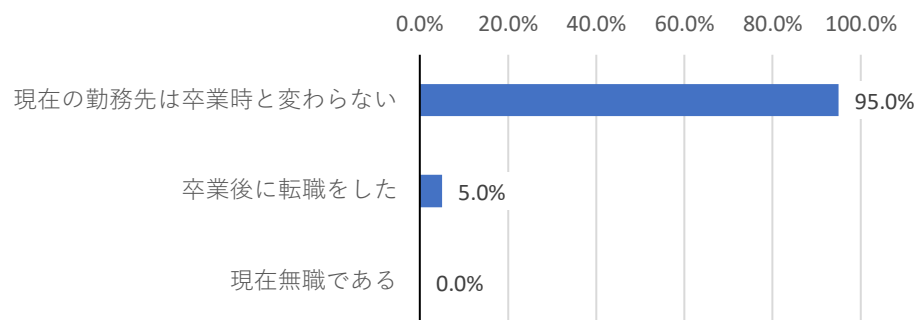
（複数の資格取得者の分布、N＝20）

（人）

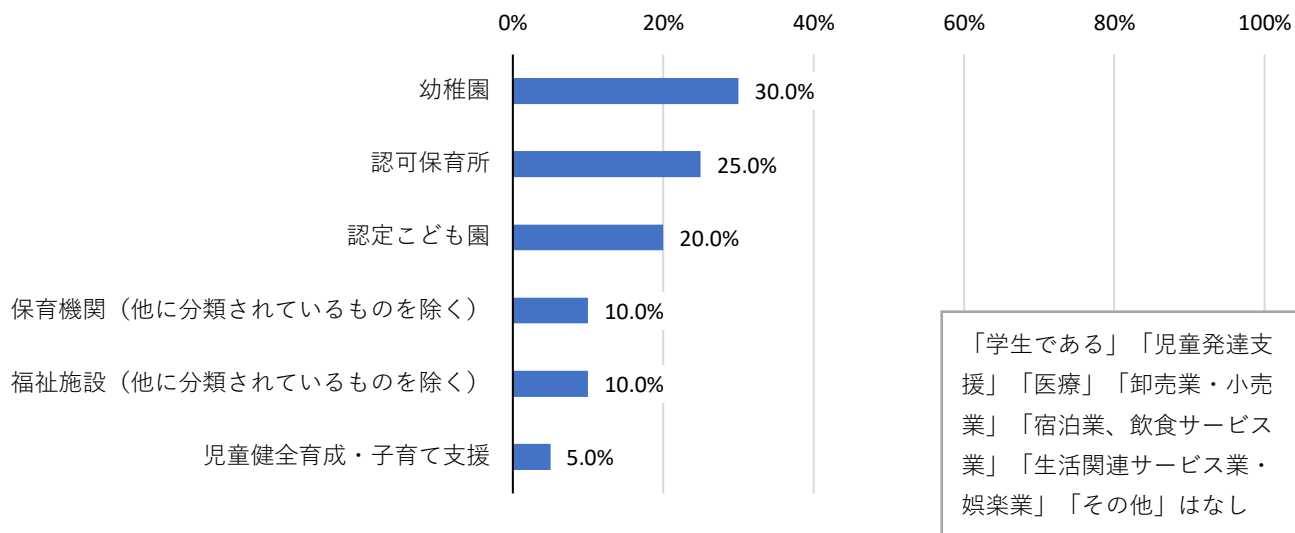


III 現在の状況について

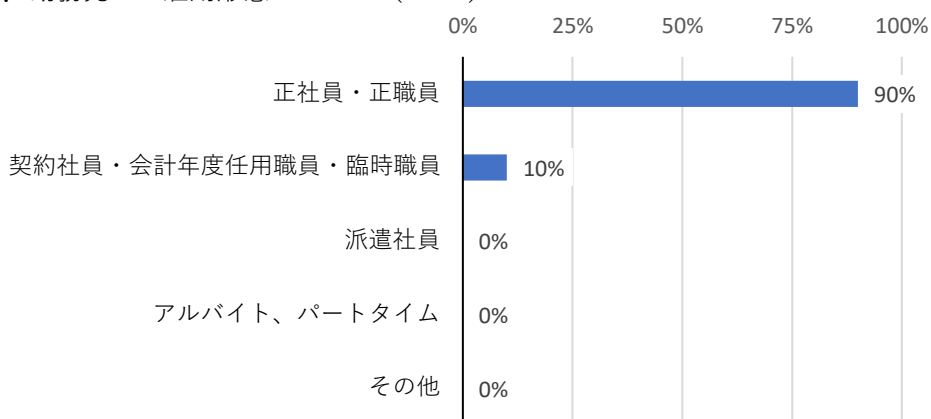
1. 現在の勤務先について（n＝20）



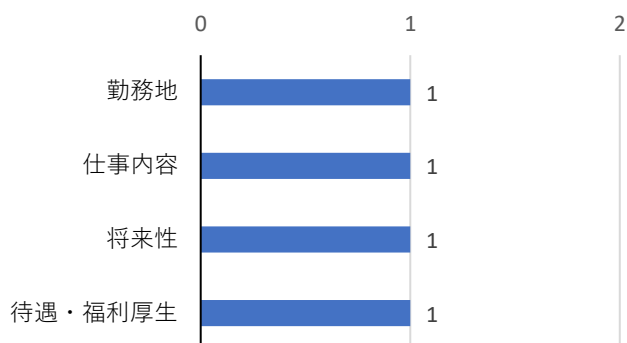
2. 勤務先の主たる職種について (n=20)



3. 勤務先での雇用形態について (n=20)



4. 転職で重視した項目(n=4、2人の複数回答) (件)



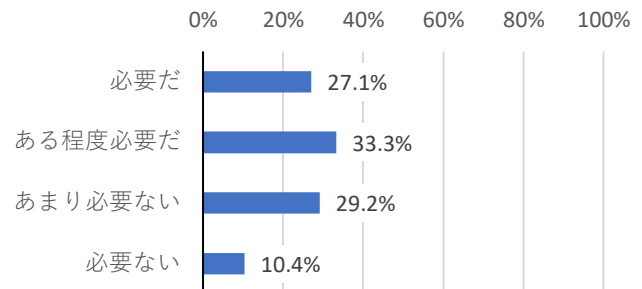
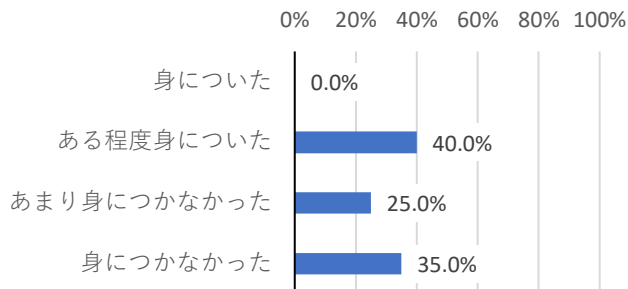
「年収」「規模」「職場の風土・雰囲気」「労働時間」「休日休暇」「人事評価のあり方」「教育体制」「その他」はなし

IV 大学での学びを通して、下記の能力や資質などはどの程度身につきましたか。また、社会に出てみて、大学時代にそれらの能力や資質を身につけておくことがどの程度必要だと感じていますか。

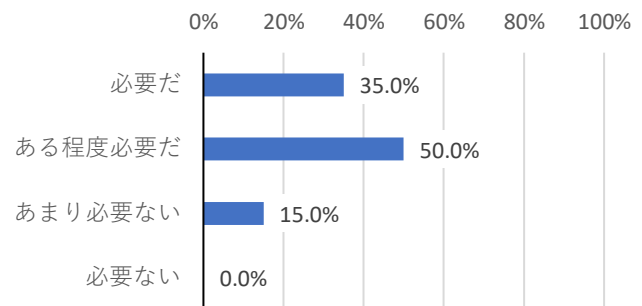
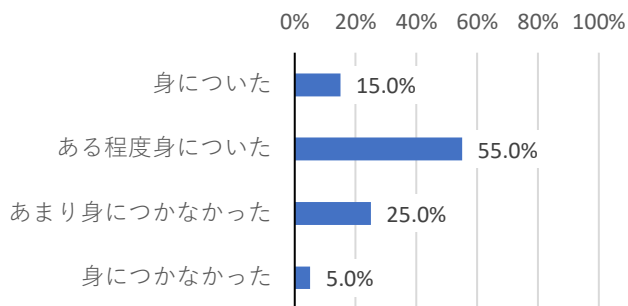
(大学での学びを通して身につけた能力・資質)

(社会に出て感じるそれら資質・能力を大学時代に身につけておくことの必要度)

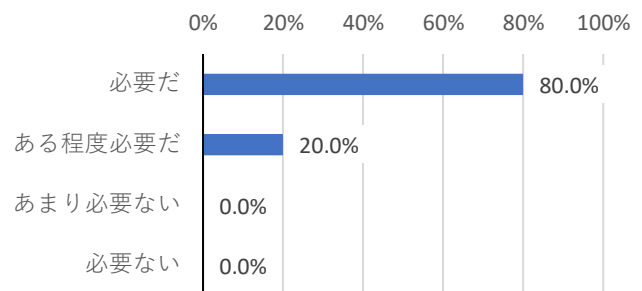
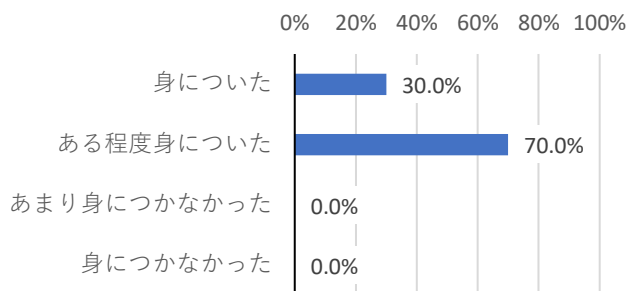
(1) 外国語能力(n=20)



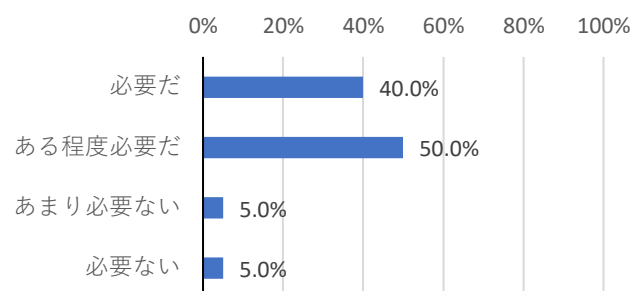
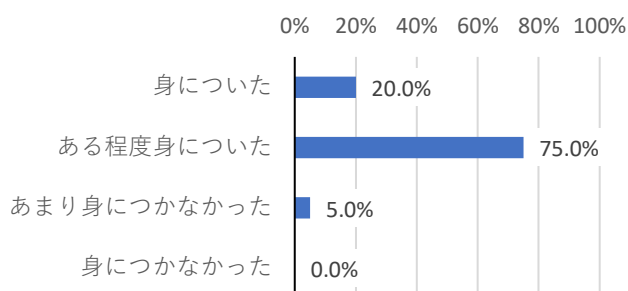
(2) ICTリテラシー (n=20)



(3) 幅広い知識と教養・一般常識 (n=20)



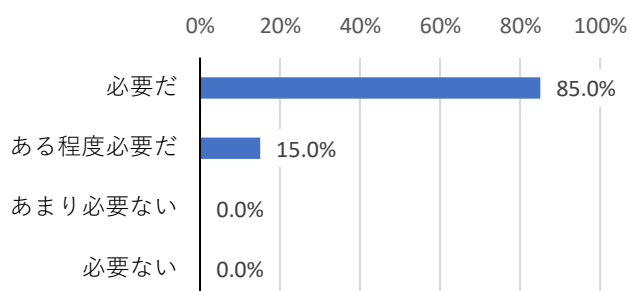
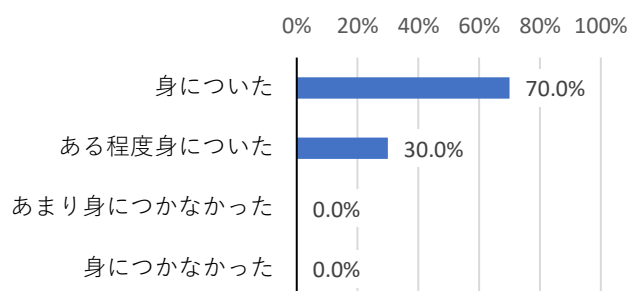
(4) レポートや論文を書く力 (n=20)



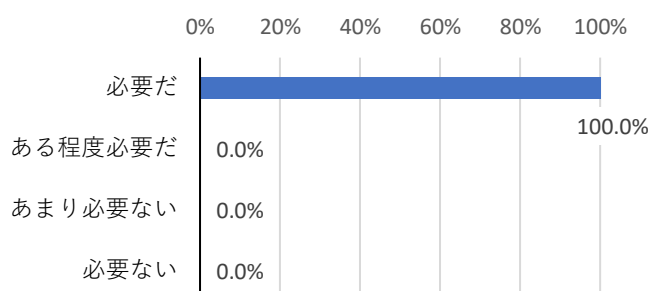
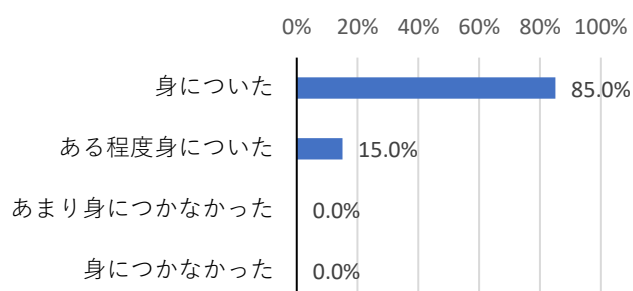
(大学での学びを通して身につけた能力・資質)

(社会に出て感じるそれら資質・能力を大学時代に身につけておくことの必要度)

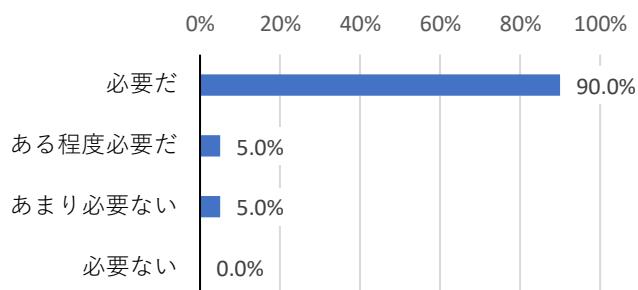
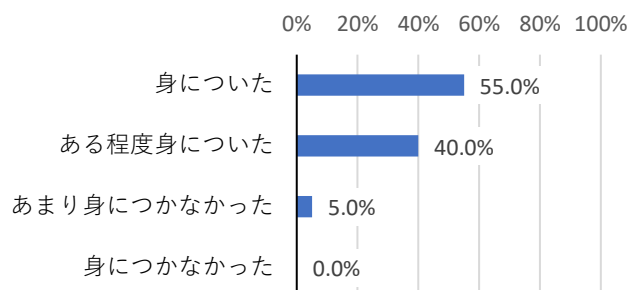
(5) 保育に携わるための専門的知識や表現等の技術 (n=20)



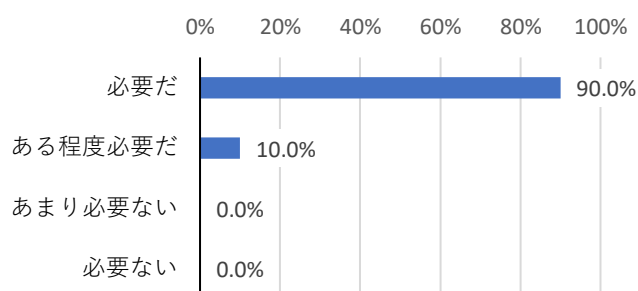
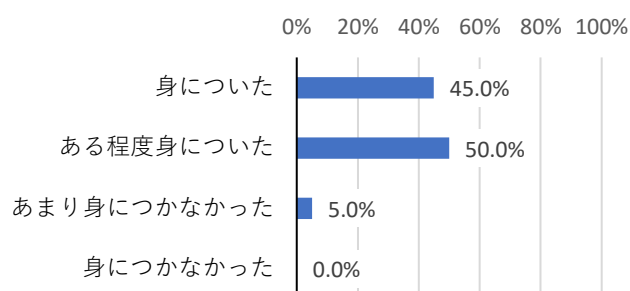
(6) 子ども成長を温かく見守り保育しようとする姿勢 (n=20)



(7) いろいろな状況に応じて行動する柔軟な対応力 (n=20)



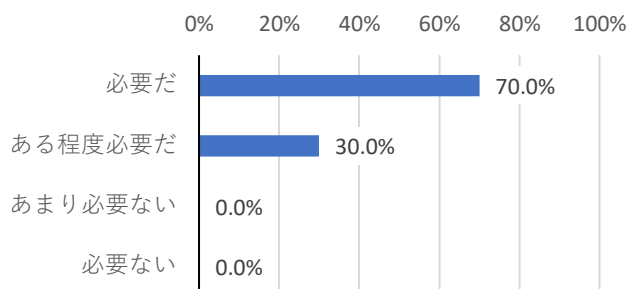
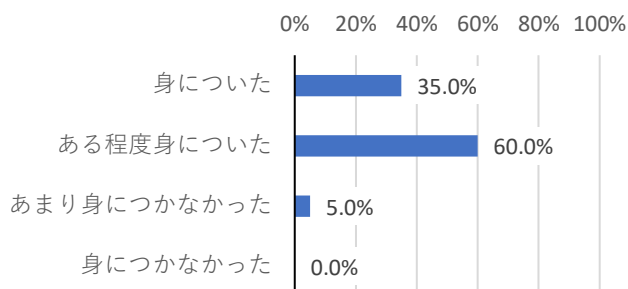
(8) 自主性・主体性 (n=20)



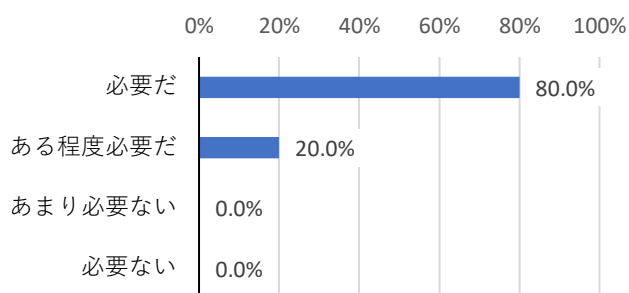
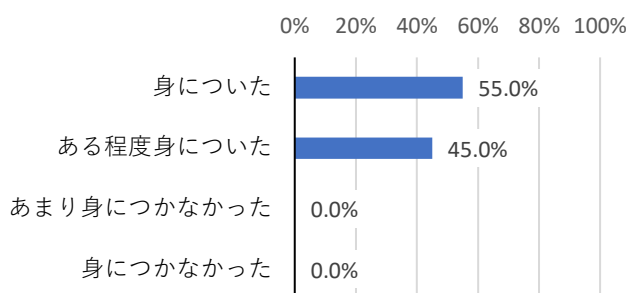
(大学での学びを通して身につけた能力・資質)

(社会に出て感じるそれら資質・能力を大学時代に
身につけておくことの必要度)

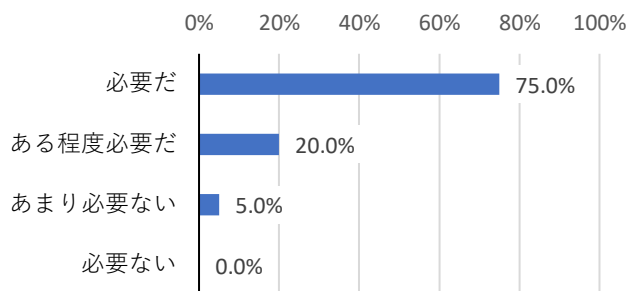
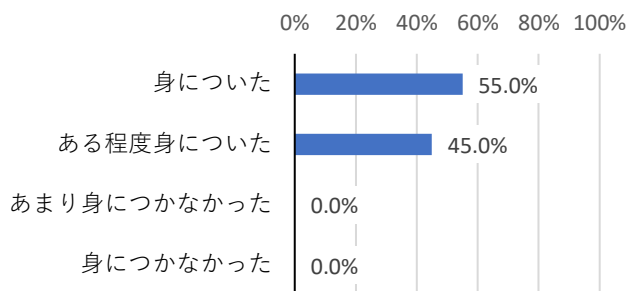
(9) 課題発見と解決能力 (n=20)



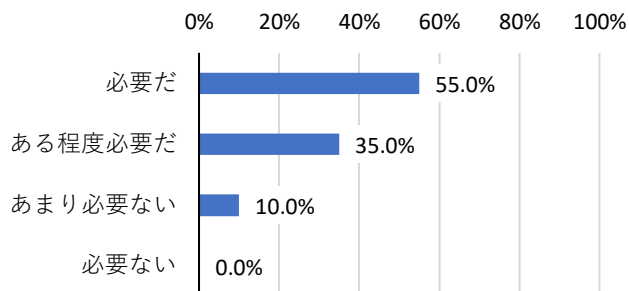
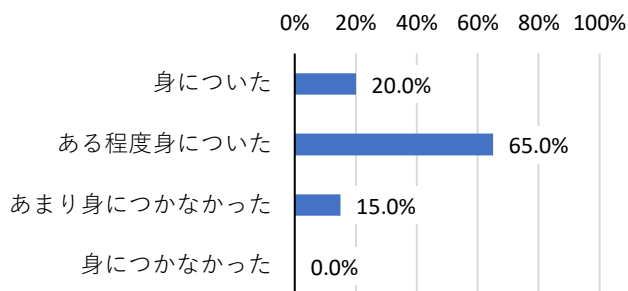
(10) 協働性 (一緒に取り組む力) (n=20)



(11) 自分自身のものの見方・考え方 (n=20)

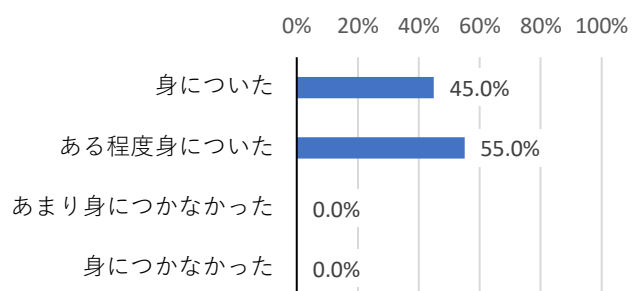


(12) プレゼンテーション力 (n=20)



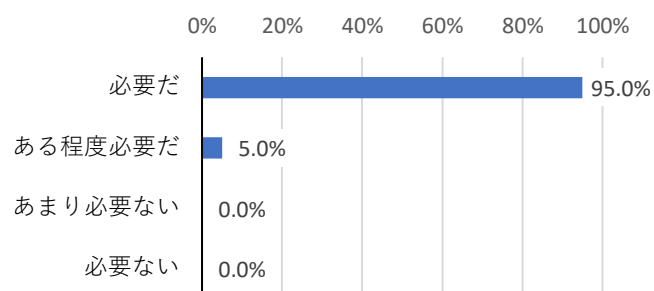
(大学での学びを通して身につけた能力・資質)

(13) コミュニケーション能力 (n=20)



(社会に出て感じるそれら資質・能力を大学時代に身につけておくことの必要度)

(n=36)



2023年度 東京成徳短期大学卒業後アンケート結果の主要Facts（大学全体）

1. 就職先企業の属性

(1) 資格	「幼稚園教諭二種免許状」	33.3%
	「保育士資格」	33.3%
(2) 現在の勤務先	「卒業時と同じ」	95.0%
	「卒業後に転職」	5.0%
	「現在無職」	0.0%
(3) 勤務先の職種	「幼稚園」	30.0%
	「認可保育園」	25.0%
	「認定こども園」	20.0%
(4) 雇用形態	「正社員・正職員」	90.0%
	「契約社員・会計年度・臨時職員」	10%

2. 「大学の学びを通して下記の能力、資質がどの程度身についたか」と「社会に出て感じるそれらの資質や能力を大学時代に身につけておくことの必要度」について

（橙：上位3位、緑：下位3以）

（不足度：上位3位）

学修内容（「学修調査」をベースとする）		①大学の学びでどの程度身についたか	②実社会の仕事、社会的活動でどの程度必要性を感じるか	①－② （修得度不足）
		2023年度	2023年度	2023年度
1. 外国語能力		2.1	2.9	-0.8
2. ICT リテラシー		2.8	3.2	-0.4
3. 教養・基礎的スキル	幅広い知識と教養・一般常識	3.3	3.8	-0.5
	レポートや論文を書く力	3.2	3.3	-0.1
4. 専門知識・スキル	保育の専門的知識、表現等の技術	3.7	3.9	-0.2
	子どもの成長を温かく見守る姿勢	3.9	4.0	-0.1
	状況に応じた柔軟な行動力	3.5	3.9	-0.4
5. 総合力	自主性・主体性	3.4	3.9	-0.5
	課題発見と解決能力	3.3	3.7	-0.4
	協働性	3.6	3.8	-0.2
	自分自身のものの見方・考え方	3.6	3.7	-0.1
	プレゼンテーション能力	3.1	3.5	-0.4
	コミュニケーション能力	3.5	4.0	-0.5

（注）①、②は、「身についた＝4、ある程度身についた＝3、あまり身につかなかった＝2、身につかなかった＝1」および「必要である＝4、ある程度必要である＝3、

あまり必要でない=2、必要でない=1」とする加重平均値。

(1) 修得度が高い項目（上位3位）

- 1位「子どもの成長を温かく見守る姿勢」
- 2位「保育の専門的知識、表現等の技術」
- 3位「協働性」と「自分自身のものの見方・考え方」

(2) 必要度が高い項目（上位3位）

- 1位「子どもの成長を温かく見守る姿勢」と「コミュニケーション能力」
- 2位「保育の専門的知識、表現等の技術」と「状況に応じた柔軟な行動力」と「自主性・主体性」
- 3位「幅広い知識と教養・一般常識」と「協働性」

(3) 修得度不足が大きい項目（上位3位）

- 1位「外国語能力」
- 2位「幅広い知識と教養・一般常識」と「自主性・主体性」と「コミュニケーション能力」
- 3位「ICT リテラシー」と「状況に応じた柔軟な行動力」と「課題発見と解決能力」と「プレゼンテーション能力」

(参考図)

